



札幌ーミュンヘン姉妹都市提携50周年特集

札幌市とドイツ・ミュンヘン市は2022年に姉妹都市提携50周年を迎えました。
札幌姉妹都市協会関連の事業を中心にご紹介します。

★ドイツ金銀細エギルド展～継承されるマイスターの技～★

ドイツの伝統文化のひとつである金銀細工を紹介する展示会を10月に開催しました。実際に使用する工具などを作品と一緒に展示し、ドイツ国家公認マイスター3名による制作の実演でその技術を紹介。札幌出身でマイスターとして活躍中の武市知子さんは「ドイツの手工業の魅力^{たけいちさとこ}を市民の方に知ってほしい」と作品の解説をしながらアピールしました。来場者からは、「時間をかけて作っているのを知り、とても印象的でした」、「職人さん、マイスターさんの実演に感動しました」といった感想をいただきました。5日間で延べ548名が来場しました。



札幌市長を表敬訪問



会場の道新プラザDo-Box

★ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo★

3年ぶりに大通公園で開催されたクリスマス市では、ミュンヘン市とオンラインでつなぐイベントが行われ、小学生による合唱の交流、国際交流員のオリヴァーさんによるミュンヘンからの中継など、多くの方がクリスマスの雰囲気を楽しんでいました。現地の紹介をしたオリヴァーさんは「25mの光り輝くクリスマスツリーを中心とした、ミュンヘンならではのクリスマス市を久しぶりに楽しむことができました。ぜひ札幌の皆さんにも、歴史や伝統ある本場のクリスマス市を体験してほしいです」と話していました。



札幌からミュンヘンへ歌声を届けました
(写真提供:札幌市広報課)



ミュンヘン市庁舎前でのクリスマス市の様子

さっぽろ日独青年交流プログラム ～環境とアートのまちづくり～

ミュンヘンを中心としたバイエルン地域からの20～30代の青年11名と団長を札幌に迎え、札幌の青年19名との交流事業を9月に実施しました。札幌の参加者は、事前研修でドイツの青年団を案内するコースを考え、準備を重ねました。

当日は、世界的に著名な彫刻家イサム・ノグチが設計、優れた環境配慮施設でもあるモエレ沼公園を舞台に、日独の青年たちがその背景や歴史を共に学び見どころを探求するフィールドワークを行い、成果を発表。久しぶりの対面交流となったこのプログラムで、英語を積極的に使って意見を交わす青年たちが、印象的でした。



自転車で公園内を探索

ミュンヘンの「日本祭り」に参加しました！

ミュンヘン市では、毎年7月に「日本祭り（ヤパン・フェスト）」が開催され、市民は茶道や生け花などの伝統的なものからサブカルチャーまで、幅広い日本文化に親しみます。

50周年の今年は、国際プラザ職員とオリヴァーさんも参加し、札幌のPRを行いました。会場の「英国庭園」には、なんと1万人以上の方が来場。札幌のブースにも多くの方が足を運び、「コロナが収まったら、ぜひ札幌を旅行したい!」「アイヌの文化に興味があります!」などと声をかけてくださり、姉妹都市の絆の強さを再確認した一日となりました。



ブースにて札幌の紹介をするオリヴァーさん

👉 新しい情報はここで見てね 👈

札幌市国際交流員と一緒に



外国について学ぼう!



新しい交流員の紹介は下記ホームページでご覧いただけます。

https://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/international_exchange/cir.html

札幌姉妹都市協会Facebook
<https://www.facebook.com/sapporo.sistercities>



国際プラザのYouTubeとInstagram

国際交流員による各国の文化紹介や札幌の魅力など、子どもから大人まで楽しめるコンテンツを発信しています。ぜひご覧ください。登録、フォローもよろしくお願ひします!



<https://www.youtube.com/c/sicpf>



<https://www.instagram.com/sicpf/>

札幌市の姉妹・友好都市



1959年 ポートランド市(アメリカ)



1972年 ミュンヘン市(ドイツ)



1980年 瀋陽市(中国)



1990年 ノボシビルスク市(ロシア)



2010年 大田広域市(韓国)